

# 事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課		■担当係	医療連携係
■評価事業名称	在宅当番医制運営事業			
■事業開始年度				
■評価事業コード	040200 - 024	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実		
	■施策	01 地域医療の充実		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	市民が休日でも必要な医療を受けられるよう、内科・外科系で1医療機関ずつ毎週日曜日、祝日、年末年始の日の時間帯を輪番制で当番医を担当し、医療を提供できる体制を整える。休日当番医制により、市民は適切な医療を受けることができる。また、県立中部病院や北上済生会病院の2次救急の負担を軽減できる。			

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	在宅当番医制運営事業	市民	日曜日、祝日、年末年始の73日間について当番医制を実施する。	日曜日、祝日、年末年始の73日間について当番医制を実施した。内科系受診者2,835人、外科系受診者944人、計3,779人。

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費	4,161	4,161	4,160	4,160	
人件費	372	451	1,297	77	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	4,533	4,612	5,457	4,237	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標の説明
01	開設日数	72日	72日	72日	73日	日曜日、祝日、年末年始の年間の全日数
02	救急医療利用割合	100%(3,703人)	100%(3,694人)	100%(4,091人)	100%(3,779人)	受診者すべて診療をした。
04	1日あたりコスト	63.0千円	64.1千円	75.8千円	58.0千円	フルコスト÷開設日数

# 事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

05	受診者コスト	1.25千円	1.25千円	1.33千円	1.12千円	フルコスト÷受診者総数
----	--------	--------	--------	--------	--------	-------------

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

在宅当番医制は計画通り実施され、利用された。

### 問題点・課題等

特になし

#### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

#### 2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

#### 3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

#### 4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

#### 5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

#### 6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

#### 7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

#### 8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

#### 9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

#### 10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

#### 11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

地域医療の確保のため必要な事業である。医師かいと協調し、長年にわたり実施してきた協働事業であり、少額のコストで運営しているもの。継続とする。

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了